

●第 87 回ブレークスルー研究会

●日程：2022年8月2日（火曜）18時-20時、形式：Zoom 参加者25名

●題名：『イノベーション戦略の構造』とは～日本のイノベーション戦略の死角と脱却

●講師：株式会社社会インフラ研究センター 代表取締役 旭岡叡峻氏

●概要：

1. 「知識産業革命の構造」

I o T, A I, D X等に象徴される産業構造ではなく、本質は、**Knowledge Technology** を利用しての「戦略機能」を実現するという「知識産業革命の構造」が重要であり、イノベーション戦略は、その変化の中で、従来のイノベーションの枠を超えた「イノベーションの戦略」の構造を理解する必要がある。

2. 「イノベーション戦略の構造」の変化の本質はE x p o n e n t i a lな技術と社会実装による社会／顧客構造の変化である。

さらに現在の変化から、新たな技術や社会構造や社会制度の急激な変化が予想され、第2波、第3波の変化が予想される。

イノベーションは、D i s r u p tとC r e a t eの同時化である。

また単独の企業での対応からM a a S等に領域変化や巨大ファンド等が新たな産業への投資が行われ、コストも経営管理スパンも拡大し、これまで以上で困難性は増している。また産学連携や産産連携のスピードは急である。

*結果としてますます日本の劣化が止まらない状態である。

また、W E B 3, 仮想空間（メタバース等）の新展開で、

3. 「知識産業革命の構造」がさらに変化する。

これに「拡張技術による産業の構造変化と拡張産業の深化」が予想される。

このプロセスの中で、また大きな産業パラダイム変革の変化要素が見える。

4. 「イノベーション戦略の構造」は、さらに構造変革へのダイナミックな展開が起こっており、日本のさらなる劣化のリスクが見える。

→5, さらに「大きな産業の構造」の変化が横たわる。

つまり「新次元産業」（人工物系産業と生命系産業の融合）の時代へ移行が予想される。

*日本の新たな劣化と克服すべき課題は重い。

これに加えて、現在のコロナ禍での新常态、ロシアウクライナ戦争等の国際的なリスクは増しており、日本はこの「世界秩序の大崩壊危機時代」「ビジネスの地殻変動併存時代」における新たな経営戦略と人材育成（司令塔機能人材等）の一段の飛躍が必要である。

「イノベーション戦略の構造」の本質の見極めこそ重要である。

乞参照：自費製作本「イノベーション戦略の構造と大変革の未来」

<Q&A>

- ・イノベーションモデルの変遷は？
- ・失敗の許容、チャレンジの風土をどう作っていくべきか？ → ダイソンが多数の失敗を乗り越えて、イノベーティブな掃除機を開発した事などが参考になる。

以上